

君と共に

生徒指導・いじめ対策監だより



～新たな自分の可能性を拓く～

2022.4.13(水) 岐阜市立岩野田中学校

仲間の手を握って避難していた姿に心動かされた ～命を守る訓練から～

私は小学校で習った「だんごむしのポーズ」を意識しました。それは頭を低くしてまるまり、机の脚をしっかり持つことです。また、訓練だからこそ私語はいけないと思い、静かに移動しました。私が素敵だと思った姿は、仲間を思いやり、手を握ってその子をひっぱっていたことです。今思えば2人のうち1人がとまどっていたら、ひっぱってあげることによって安心すると思えました。思いやりの気持ちを感じました。 (1年Aさん)

私はあせらず、しっかりと素早く机の下へ入ることができました。そして、一言もしゃべらず、自分のことをしっかり守ることができてよかったです。地震はいつ起こるか分からないので、今やったことを忘れずにして、しっかりと自分の命を守りたいです。しゃべり声が聞こえず、みんなで助け合って避難することができてよかったです。実際に地震が起きたら、パニックになってしまうこともあるので、そのときは落ち着いてみんなで行動したいです。みんな机の下にかくれたとき、私が見える範囲の人たちは、しっかりと頭をひっこめて、机の脚を持っていて、しっかりと自分のことを守っていたのでよかったです。 (1年Bさん)

机の下へ避難する時は、とにかく頭は必ず入れるようにして、机の脚も両方力強く持った。今までの訓練で学んだことを確実にやり、避難できたと思う。私語無しで素早く移動し素早く整列できた。本当にあった時にどうするべきかを考えながら行動できたので、もしものときにいかしたい。私が思う限り、私語は目立っていなかったと思う。一人一人が意識し、自分の身は自分で守れるように考えて行動できたと思う。全体的に素早い行動で整列できていたので良かったと思う。 (2年Cさん)

今回の訓練は地震で、いつ、どこで起こるか分からないので、しっかりとできていて良かったです。また、コロナの予防もしながらの避難だと難しいのもあると思うので、訓練をしっかりやりたいです。みんないい緊張感をもってやれていたので、とても良かったと思います。本当に起きたという事をしっかりと想定して行っていたので、とても良かったです。 (3年Dさん)

机の下にもぐり、廊下へ避難、整列、点呼するだけの「命を守る訓練」でしたが、どの学年も整然と避難できたようです。自らの命を守る行動をとることが最優先ですが、仲間の命を守るということも、一瞬の判断でできたKさんの仲間の行動に嬉しく思います。「こっちだよ！」って、相手の意識の中に入る瞬時の声、そして手を握って誘導してあげられたその行動は本当に素敵です。きっと日頃から自分の意識に仲間の存在があるからなのでしょう。仲間の思いを自分の心に取り入れ、自分も生き、仲間も生きる互いの関係を大切にしているからだと思います。ありがとう。2年生Uさんも、力強く机の脚を握ったという行動に実際に地震が起きたときの安全確保をイメージした本気が伝わってきます。3年生Nさんも、緊張感を持って行動できたことに3年生としての自覚が伝わってきます。次回はコロナ感染防止に配慮して可能ならば外への避難です。訓練(活動)の意味や値打ちを理解して取り組めることが、今の岩野田中の生徒の“強み”であり、誇りとしてよいことです。日常の他の取組にもつないでいきましょう。

